

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 急性心筋梗塞患者脂質管理目標達成のための多職種チームによる介入の有効性の検討

〔研究機関名〕 聖隷三方原病院

〔研究機関の長〕 山本貴道

〔研究責任者〕 宮島佳祐（循環器科・医師）

〔研究の概要〕

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：2025年1月21日～2025年12月31日

目的：急性冠症候群（ACS）は心血管疾患の中でも重篤で、再発リスクが高く、退院後も継続的なリスク管理が求められます。特にLDLコレステロール（LDL-C）の低下はACS患者における二次予防の中心的な目標とされており、ガイドラインでは厳格なLDL-C管理が推奨されています。しかし、臨床現場ではLDL-Cの目標達成が難しく、ガイドラインとの乖離が課題となっています。この背景から、医療チームが協働する多職種チーム（MDT）による介入が、LDL-C管理の達成率を向上させる有効な手段として注目されています。

本研究の目的は、ACS患者におけるLDL-C管理に対するMDT介入の効果を評価することです。MDTによる継続的なフォローアップと治療調整がLDL-C目標達成にどのように寄与するかを、従来の管理方法と比較することで明らかにし、より効果的な二次予防に向けた実証データを提供することを目指します。本研究は、聖隷三方原病院の倫理委員会の許可を得て行われます。あなたの診療録（カルテ）から過去の情報を抽出して、解析を行います。保存された血液などの試料の利用や、この研究のために新たな試料を採取することはありません。したがって、あなたに新たな負担はありません。また、カルテからの情報の抽出の際には個人情報情報を削除しますので、あなたの情報が流出することはありません。

方法：カルテ情報を用いた後ろ向き研究

■ 対象となる患者さん

2021年1月～2022年6月に当院に入院し、急性冠症候群（ACS）の治療を受けた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、身長、体重、血圧、心拍数、原因となる心疾患、生活習慣病の合併、心不全の重症度、血液検査結果、心電図検査結果、画像検査結果、治療歴等

(様式 17)

|      |         |
|------|---------|
| 研究番号 | 第 24－78 |
|------|---------|

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

宮島佳祐、循環器科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971